

2023 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- 〔1〕個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- 〔2〕自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- 〔3〕実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- 〔4〕礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

2 中期的目標

【1】建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。

- (1)あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
 - ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
- (2)教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
 - ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。
 - イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
- (3)総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
 - ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。

【2】18 歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。

- (1)学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
 - ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。
 - イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
- (2)生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
 - ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。
 - イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
- (3)部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
 - ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。
 - イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
- (4)あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
 - ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。
 - イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
- (5)国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
 - ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。
 - イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。

【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。

- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。
 - ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。
 - イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。
- (2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。
 - ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。
 - イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。

【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。

- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。
 - ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。
 - イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。
- (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。
 - ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。
 - イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。

【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。

- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。
 - ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。
 - イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [2023年12月実施]	学校協議会からの意見
<ul style="list-style-type: none">・評価項目:教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う。・評価方法:各項目について、5段階評価で行う。<ul style="list-style-type: none">5:その通りである4:どちらかといえばその通りである3:どちらともいえない2:どちらかといえば違う1:まったく違う	<p><学校評価委員会を開催>2024年1月実施</p> <p>○「将来の進路について考えるキャリア学習」については、上級学校体験や職場体験が実施されており、親が驚くぐらいとても充実したもので子どもたちが将来を考えるきっかけとなっているのがよい。総合キャリアコースのキャリアデザインの授業を受けるようになって何をしたいかビジョンがはっきりしてきたように思う。同級生や先生たちだけでなく先輩や社会人、大学・専門学校の先生の話聞く機会も多く、日々のそういった体験を通していろいろな事を考えるようになってきている。成長の過程で大きな意味のある教育活動をしてもらっている。いろんな事に挑戦する経験は継続してほしい。子どもが自ら考え行動を起こすことは大切なことであるので今後も指導をお願いしたい。そして、高校の次の進路は将来の仕事につながることを、子ども達に強く意識づけるためにも今後もキャリア教育に力を入れていただきたい。</p> <p>「進路指導」については、先生方の手厚い指導とサポ</p>

ート力はすごい。先生からの情報や働きがけをきっかけに、日頃から自分で調べる力や主体的に取り組む力をつけてもらっており、その結果進路は、本人が納得して自ら決めることができた。勉強の方法も丁寧に指導していただき、私学の良さを感じた。

○緊急連絡や重要文書配布の連絡の際のミマモルメやブレンド（一斉メール配信システム）は、学校からの連絡事項のプリントを子どもが親に渡し忘れることがあるので、たいへん助かっている。ペーパーレス化を進めて今後も細やかに情報提供をお願いしたい。Instagram も学校やクラブ活動の様子を見ることができとても楽しみに拝見している。

○コロナが5類に移行した後の「文化祭、体育会などの行事」は、子ども達がとても主体的に積極的に取り組み大成功だったと思う。子ども達は達成感を得ることができた。親も学校行事に参加して先生方と子ども達の距離感が近くてとても良い関係であることを間近で見ることができて安心した。文化祭の準備もクラスの出し物に担任の先生がよくかかわってくれているのを実感した。先生方からこの文化祭を何としてでも成功させるぞという気迫すら感じられた。今後も行事への積極的な参加を促し、「学校での友人関係や生徒同士の協力・つながり」を強化する機会を大切にしていきたい。目標に向かって協力しチームワークを築いていくことは、「社会で生きる力」を育む大切な体験であるので、子ども達が主体的に行動できるようにご指導をお願いしたい。

文化祭・体育会が平日開催のため仕事の都合で参加できず、次年度は休日開催を切望する。

○「クラブ活動」への取り組みが高評価となっている。子ども達が自分の個性に応じて意欲的に参加するクラブ活動は、子ども達を大きく成長させるものだと考える。今後も活発な活動を期待する。

○「生徒の悩み・相談への対応」については、先生方が子ども達と近い距離に立って親身に対応してくださっている。保護者として先生方に感謝している。きめ細やかな対応は、本校の素晴らしい点であると思

	<p>う。さまざまな子どもたちの思いを拾い上げて、さらに相談しやすい環境作りをお願いしたい。そして、学校と家庭が情報を共有し連携することが大切であると感じている。</p> <p>○生徒アンケートで「18歳の選挙権に向けて、社会や政治について考える教育を行っている」が低評価は気になる。成人年齢が18歳となり、高校生からその対象になり、さまざまな感情や戸惑いなどが生じることが予想されるので成年としての自覚が芽生えるように教育現場でも指導をお願いしたい。</p> <p>○学校のルールを検討して欲しい。通学時の交通事故が2回あったが、娘は皆勤にこだわっていて2回とも学校に登校して授業を受けて、終礼後に通院している。本来ならば事故後は、警察の事情聴取や病院の検査をしてから学校に行くのが流れであると思うが、今の制度を検討して欲しい。</p> <p>○いろいろな資格については、学校で整えて頂いていると思うが、案内も子ども止まりで保護者が知らないまま終わってしまっているように思う。入学パンフレットの記載や一斉メール配信システムを利用して保護者にも知らせて欲しい。</p>
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
1. 建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践	(1)理念・方針にもとづく教育計画の再構築	年度の初めに、各学年・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努めます。	目標や計画の重要性から教員の自己評価平均 4.0 以上（前年 3.9）を目指します。	3.8 4月に指導目標・教育活動計画を策定。教育理念・教育方針に沿った教育活動の実現に、より一層努めています。

	(2)教職員の 資質向上と 学校運営体 制を改善・整 備	<p>①学園の特徴を前面に打ち出し、新学習指導要領に沿った取り組みを実践していきます。</p> <p>②教員の「授業力」向上のため、教務部と委員会を中心に、研修・会議・公開授業を活用し、教育課題や指導方法について話し合い有効な実践につなげます。</p> <p>③より良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携を図ります。</p>	①～④の自己評価は、全て 4.0 以上（前年 ① 4.0, ② 3.7, ③ 3.7）を目指します。	<p>①3.9 新学習指導要領導入に沿った教育実践に、より一層取り組みます。</p> <p>②3.9 研修や会議・公開授業を活用することで、少しずつ教員の「授業力」向上への意識が高まり向上しています。</p> <p>③3.3 各教科及び学年、各部署での教員間での連携の必要性を明確化し、より一層改善への取り組みをすすめます。</p>
2 高校生に 求められる学 力及び態度・ 諸能力の基 盤の養成	(1)主体的・ 対話的で深 い学び(AL 授業)の実践	<p>①基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化します。</p> <p>②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行います。</p> <p>③課題発見能力と課題解決能力を養うための授業を実践します。</p>	①～③の自己評価は、全て 4.0 以上（前年 ① 4.0, ② 4.0, ③ 3.8）を目指します。	①4.0②4.0③3.8 生徒のための授業改革への取り組みを強化したが前年度と同評価。より一層向上に取り組まなければなりません。
	(2)集団・社 会に貢献で きる態度・実 行力	<p>①基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかり行います。</p> <p>②クラス活動や行事活動を通して、協働や責任感などの社会性を身につける指導を行います。</p>	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上（前年 ① 3.8, ② 3.7）を目指します。	<p>①3.6、マナー教育が学校生活全般を通じて身につけられるように働きかけ、なお一層の取り組みをすすめます。</p> <p>②3.8 前年度より少し向上しています。</p>
	(3)部活動を通 して心身の 鍛錬	<p>①短い活動時間で集中し、技術や精神力など自らの心身を主体的に鍛える指導を実践します。</p> <p>②協調性や行動力など社会性を身につけるようチームワークを重視した指導を行います。</p>	①・②の自己評価は、総合的に 4.0 以上（前年 ①・② 3.9）を目指します。	①・②3.9 と前年度と同評価。どのクラブもチームワークを重視し、社会性を身に付けながら、生徒の育成を図っています。また、公式試合や大会でも優秀な成果を残しています。

	(4)市民性を育む教育	①18歳からの選挙権を見すえて、市民性・主権者意識を育む教育を実践します。 ②よりよい地域を目指したボランティア活動等の集団的、体験的な活動並びに地域活動への参加を推奨し、実践的学習を推進します。	①・②の自己評価は、全て4.0以上（前年①3.3, ②3.3）を目指します。	①3.2低評価です。生徒の意見を尊重しながら、主権者意識を育む教育のなご一層の取り組みを強化していきます。 ②3.4の評価で、実践的学習の推進が課題として残っています。 ①②とも強化が必要であり、重点的に取り組んでいきます。
	(5)国際的資質を育む教育	海外からの研修生・留学生を受入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣し、これからの社会で必要な国際感覚を育てます。	自己評価は、4.0以上を目指します。	3.8今年度から少しずつ海外研修・留学等の実施が可能となりました。更に取り組みを活発化していきます。
中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
3人としての在り方・生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識の育成	(1)自己・他者が共により良く生きようとする態度	①学年別にテーマを決め、多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施します。 ②学級生活や活動を通して、多様な価値観を認め合い、仲間と共に調和して生活しようとする態度を養います。 ③いじめアンケートを学期ごとに実施し、普段から生徒の日々の様子をしっかりと観察することで、個人に応じたきめ細やかな指導を行います。	①～③の自己評価は、全て4.0以上（前年①3.7, ②3.9 ③4.0）を目指します。	①3.8 ②3.8 これからも、人権教育部・学年・教科が連携を図りながら、生徒たちの人権意識のさらなる向上への取り組みをすすめます。 ③4.0 いじめ対策は特に重要視しています。生徒へのアンケートを実施し寄り添いながら、生徒たちが仲間と共に調和し学校生活を送れる指導をおこなっていきます。
	(2)一人ひとりのニーズに応じた指導	①様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかり理解し、丁寧に対応し支援を行います。 ②生徒のニーズを把握し教職員が連携し、チームとして特別支援教育を実施します。	①・②の自己評価は、全て4.0以上（前年①4.1, ②3.7）を目指します。	①4.0 ②3.6 課題を抱える生徒への対応は、教職員が組織的に連携し、個々のニーズを把握しながら、親切・丁寧に、より一層取り組みます。
4 進路目標の実現に向	(1)未来の目標を実現す	①生徒が自分の興味・関心を知り進路目標を考える進路指導を行	①・②の自己評価は、全て4.0以上	①4.0②3.9 進路指導では、各コースによって進

<p>けて、未来を切り拓くキャリア教育・進路指導</p>	<p>る能力</p>	<p>います。 ②職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施し、キャリア教育を推進します。</p>	<p>(①4.1, ②4.1)を目指します。</p>	<p>路目標を明確にして進路指導をおこなっています。 キャリア教育では、本校独自の形態をさらに進化させ、生徒の進路選択に繋がるよう取り組んでいます。</p>
	<p>(2)生徒の目標を実現させる進路相談・支援</p>	<p>①進学や就職にかかわる進路情報を提供し、丁寧で個性に応じた相談や助言を行います。 ②生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施します。</p>	<p>①・②の自己評価は、全て4.0以上(①4.1, ②3.7)を目指します。</p>	<p>①4.1②3.7 進路に関する情報は、係から学年、担任へと提供しています。そして、担任が中心となって、生徒・保護者に個別で対応しています。講習は、生徒のニーズに沿って実施しています。</p>
<p>5 安心・安全な社会を築くための態度と行動力の養成</p>	<p>防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施</p>	<p>①マニュアルに沿った避難訓練、大阪880万人訓練等地震・津波・火災等、防災・減災に向けた防災訓練を実施します。 ②自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施します。</p>	<p>①・②の自己評価は、全て4.0以上(①3.9, ②3.6)を目指します。</p>	<p>①4.0②3.3 防災教育では、避難訓練を実施することや、災害の科学的理解を深めて生徒の防災意識を高めることに努めています。</p>